



「笑いの中から男女共同参画を」  
～落語から学ぶ男と女～



講師：落語家 金原亭馬治さん  
日時：平成20年6月29日(日) 午後1時30分～3時30分  
場所：男女共同参画センター 講習室

落語を通じて、家庭でも職場でも男女が平等に支えあうことの大切さや、「自分らしくを大切にすること(お互いが相手を思いやる心の大切さ)を感じたひとときでした。たまには、思いきり笑うのもいいですね。  
演目 鮑のし・親子酒・お見立て・江戸文化について



▲馬治さんのお話に引き込まれました



▲「さんかく寄席」は満員御礼

ひとこと感想

「男女共同参画」というテーマがとく難しく考えてしまうと思われませんが、落語の中から日本の男女の係わり方を学び、とても参考になりました。

落語も、江戸時代のお話もとてもおもしろかったです。江戸時代は男女がともに歩んでいたというお話が印象に残りました。現代は女性の社会進出が著しいですが、江戸のように楽しく生活できているのかと思いました。また、どこかで聴かせていただくことを楽しみにしています。

相談いろいろ 読んでみませんか?

八千代市では「女性、こころの悩み電話相談」を行っています  
☎ 485-7333 毎週火・木・金曜日 9:00～16:00  
☑ 県の相談窓口(無料) ☑

問合わせ ちば県民共生センター ☎043-252-8036

◆ 女性のための相談 ◆

女性が抱える様々な悩みに専門の相談員が相談に応じます

《電話相談》04-7140-8605  
火～日9:30～16:00(火曜日(祝祭日を除く)は20:00まで)

《面接相談》予約制 9:30～16:00  
ちばセンター(毎週金曜日) 予約電話043-252-8036  
東葛飾センター(火～日曜日) 予約電話04-7140-8605  
【利用対象者】千葉県在住・在勤・在学の女性

◆ 男性のための相談 ◆

男性の抱える様々な悩みを専門の男性相談員が相談に応じます。  
《相談電話》043-285-0231  
毎週火・水曜日 16:00～20:00



「クマとうさんのこもりうた」

子守りはいつもクマかあさんに任せっきりのクマとうさんが他の家のベビーシッターをすることになります。慣れない子守りになかなかうまくいきません。疲れてお家に帰ったクマとうさんに変化が...

評論社



「おんなのこだから」

「女は家事をしなくちゃいけない?」「男は泣いちゃいけない?」性による枠から自由になって、みんなのびのび生きようと呼びかけます。

市立図書館所蔵

岩崎書店

男女共同参画だより

No5

平成20年9月

八千代市男女共同参画課 ☎047-485-7088  
八千代市男女共同参画センター ☎047-485-6505  
八千代市八千代台南1-11-6 (八千代台東南公共センター4階)

男女共同参画だよりのホームページができました。  
アドレス: <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/siyakusyo/danjo/dayori.html>

男女共同参画課・男女共同参画センターは、一人ひとりが生きがいのある社会を形成するために、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かちあい、性別にかかわらず家庭、職場、地域などで十分に能力や個性を發揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指しております。

この情報紙は、その活動を多くの方にお知らせしたく発行しています。センターの講座等もお知らせしています。

再就職準備セミナー

女性チャレンジ支援セミナー

「働きたい」と思っているあなたの  
応援講座! 全5回

結婚や育児で仕事を辞めてしまったけれど、もう一度働いてみようかな?と思うけれど不安!

一歩を踏み出してみませんか



1	10月21日(火) 10:00～12:00 男女共同参画センター	「もっと輝いて 再就職へGO!」 講師 若林美也子さん キャリアアドバイザー
2	10月23日(木) 10:00～12:00 男女共同参画センター	「すぐに役立つ履歴書の書き方・面接の受け方」 講師 相良忠義さん キャリアカウンセラー
3・4・5	10月29日(水)～ 10月31日(金) 10:00～12:00 13:30～15:30 (いずれかを選ぶ) 緑が丘公民館	「パソコン実技」 ワード・エクセル・インターネット 講師 小谷野敏行さん パソコンインストラクター

1・2回は「今」、企業はどんな人材を求めているか、そして復職に向けてどう輝いていくかを、ベテランドアドバイザーからお話を聞きます。

簡単な文章・表の作成や、今、就職の情報収集や採用申し込みに必要な不可欠のインターネットを実際にパソコンを使って学習します。

市内在住・在勤の女性 30人  
保育あり 2歳～6歳先着5人(要予約)  
パソコン実技は午前・午後各13人です。  
※パソコン実技のみの受講は出来ません

申し込みは9/17より 男女共同参画センター 窓口又は電話で 485-6505

次回講座は11月6日(日)13日(日)全2回 メタボリックシンドロームの予防と対策を「食」と「運動」から考えます。「バランスの良い食事とウォーキング」と「ちょっと汗をかくキックエクササイズ」を楽しく「調理実習・楽しく運動」そして、メタボリックシンドロームを撃退! 詳しくは10月1日号 広報をご覧ください。



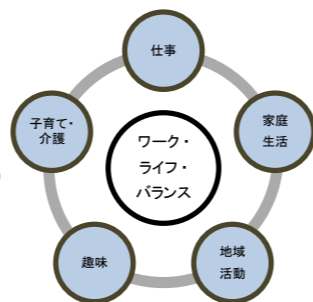
キック・パンチでいい汗を!▶





# 仕事と生活の調和の実現に向けて

## ワーク・ライフ・バランスを目指そう



あなたは日ごろ、仕事と生活のバランスが取れていると感じていますか？

「『仕事』『家庭生活』『地域・個人の生活』の優先度について、希望と現実を聞いたところ、『仕事と家庭生活をともに優先したい』といった複数の活動をバランスよく行いたいという希望を持つ人の割合が最も高いが、現実には『仕事』や『家庭』など、単一の活動を優先している人の割合が、どの世代の男女も最も高くなっている」

これは、内閣府が平成19年度に行った「男女共同参画に関する世論調査」の結果です。

仕事と、家庭生活や趣味などの生活のバランスが、一人ひとりの希望にかなってこそ、双方に生きがいや喜びを見出すことができます。

この課題に取り組むため、内閣府は昨年、官民トップ会議において、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」を定めました。

ワーク・ライフ・バランスについて、考えてみませんか。

今回は、ワーク・ライフ・バランスを実践している方たちにインタビューをしました。

前田保乃(まえだやすの)さんは、平成16年に八千代市消防本部に消防士として採用され、現在中央消防署に勤務をし5年目を迎えました。救急救命士の資格は大学で取得され、今年ご結婚されたそうで、仕事と生活をどのように両立しているかがありました。



▲ 前田保乃さん

Q. 消防士としての仕事は、いかがですか。

A. 人と接する仕事でしたかった私にとって、救急救命士としての仕事は、大変ですが、やりがいがあります。

昨年、新たに救急救命士の「きかんそうかん薬剤投与」と「気管挿管」ができる資格を取り、実際の現場で薬剤の投与を行いました。今まででうれしかったことは、心肺停止だった患者さんが、元気になって退院し、その後お礼の手紙をくださったことですね。

Q. 仕事と生活を両立する工夫があれば、教えてください。

A. 仕事も生活も自分ができること以上には無理をせず、プラスに考えることが大切だと思います。生活は、最近結婚したので、ずいぶん変わりました。家事は、どちらか出来る方がやりますが、夫は、率先して家事もやってくれます。中央消防署の男性消防士みたいに、料理上手じゃないですけど(笑)。休みの日は、夫婦でよく話します。親、兄妹、友達ともよく話して、気分転換しますね。

Q. 仕事や生活の上での、今後の計画を教えてください。

A. 仕事は、将来子どもが生まれても続けていきたいです。夫は、私が仕事を続けられるように、仕事を認めてくれています。資格を取るときや、就職するときなどに、私が頑張っている姿を見てくれたからだと思います。夫は、最も良き理解者です。育児休業などは、消防士ではあまり取った人がいないので、不安かな(笑)。そのときに、職場の上司や先輩に相談したいと思います。



いつも乗っている救急車の前で ▶

Q. 最後に、一言お願いします。

A. 中央消防署は、女性消防士専用の仮眠室、お風呂、トイレ、休憩室を市内で初めて完備しました。これにより、男性と同様に、女性も夜間勤務ができるようになりました。女性も安心して勤務できるので、これからは女性の消防士が増えると思います。

ガス会社で営業として勤務しながら、八千代台東小のPTA会長として活躍している轡田信芳(くつわだ のぶよし)さん。3人のお子さんのお父さんでもある轡田さんは、仕事と、地域活動、お子さんとの時間をどのように両立しているかお話をうかがいました。



▲ 轡田信芳さん

Q. 仕事をする上で大切にしていることは、何ですか？

A. 信頼関係ですね。営業は特にそうだと思います。技術職で就職したので、営業になったときには、違和感がありました。しかし、「営業はお客さんと会社との調整役だ」と気づいてから、営業の仕事が好きになり、誇りを持って仕事をしています。

Q. P T Aの会長のほかに地域で活動していることは、ありますか？

A. 東小の父親くらぶを通して、お父さんたちの趣味や技術を活かした活動をしています。天体観測とか……。今年は、「学校に泊まろう08夏」という企画をやって、54人の子どもが参加しました。空き缶と牛乳パックを使ってご飯を炊いて、夜はきもだめしをして、ダンボールハウスで寝るんですよ、朝は学校周辺のゴミ拾いをして……。とても楽しかったですね(笑)。

Q. ご夫婦で共働きだそうです。

A. 妻の実家が近いので、いろいろと協力してもらっています。だからこそ、2人でフルタイムで働いていけると思います。保育園や学童保育所も視野には入れていましたが……。妻の両親には本当に感謝しています。また、ダブルインカム(共働き)ということで、すこし気持ちに余裕があるというか……。PTA活動のように、仕事と家庭以外にも欲張れるのは、その余裕も理由のひとつかもしれません。

Q. 仕事や生活の上で、今後計画していることや目標があれば、教えてください。

A. “夢”は、無事に会社を勤めあげ、「良き地域のおじさん」になることです。先日、地域の先輩の方たちが「見守り隊」となって道に立ち、子どもたちが安全に登下校している光景に感動してしまいました。本当にありがたいと思いました。私もこういう地域の人になって、次世代の子どもを支えたいですね。あとは家族旅行をなんとか年に2回、1泊でいいので続けていきたいですね、子どもがついて来てくれる間ですが(笑)。

Q. これから、ワーク・ライフ・バランスを実現したいと思っている人に、一言。

A. 自分にも人にもあまり完璧をもとめないことだと思います、とくに自分に……。 “これでよし”という自分なりのハードルを下げて、人の支援もちゃんと当てにしてみたり……。会社、家庭、プラスアルファにチャレンジしてみると、新しい世界が広がります。お父さんたちは、まず手始めに、父親くらぶに参加してみてもどうでしょうか？



”学校に泊まろう08夏”のひとつコマ

轡田さんインタビュー「グループの名前はなんですか～？」 ▶